



【教育目標】

自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

☆10月の目標

- ☆学習をがんばろう
- ☆みんなと
なかよくしよう
- ☆笑顔で
あいさつしよう

☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り
- ☆保護者の会から
・バザー案内、来年度役員
公募
- ☆今後の行事計画(10月)
- 21日 弁論大会
- 28日 授業参観、バザー
漢字検定

☆三年一組 絵日記

ふるや ここ

今日は、家の近くのお友だちと新しく日本から来たお友だちと遊びました。ほんとうは、家の近くの公園で遊ぶつもりだったので、少しはなれたハリソン公園に行きました。

そこには、大きなすべり台やうんていがあります。みんなでサッカーをしたり、おにごっこをしたりすごく楽しかったです。

次に、近くのトンネルにたんけんに行きました。キャーと言ったら、すぐくひびいておもしろかったです。みんなでキャーと言ったら、すぐお母さんに注意されました。

また、公園に行きたいです。



☆三年一組 絵日記

野中 じゅり

八月二十一日に家族でミズリー州のセントルイスにかいき日食を見に行きました。前の日の昼に家を出ました。途中でじゅうたいにあたり、ご飯をたべたりしたので、三時間でいけるはずが、五時間車の中にいたので、くたくたになりました。

次の日に、フェールに行きました。フェールは、とても寒かったです。午後には、かいき日食を見ました。かいき日食は、すごかったです。太陽が、すっかりかくれたとき、言葉では表せない気持ちになりました。すごいといいながら、ピョンピョンとびました。太陽の形を始めて見ました。

この日はとてもすてきなけいけんができました。



☆二年二組 絵日記

ホーバスジョナ

七月五日にウイスコンシン・テルスに行きました。そこで、ジップラインを見ました。そのジップラインは、ノースアメリカで一ばん長いジップラインで、7本もありました。インストラクターが二人ついてくれてしんせつに教えてくれました。一本目は、こわかったです。三本目は、池の上をとんでちよとこわかったです。六本目は、おねえちゃんがかちました。おもしろいです。すこく楽しかったです。



☆二年二組 絵日記

シン 有紗

今日、カラハリホテルの近くのどうぶつえんに行きました。はじめにぶたのリースをみました。三とうのぶたがいっしょうけんめいはいりました。でも、とちゃうで一とうがみちくさをはじめました。みんなで大わらいしました。

つぎに、にんじんをつかってキリンやらくだ、赤ちゃんのやぎなどいろいろな動物にえさをやりました。一番おもしろかったのは、オウムです。足でじょうずにえさをもってたべていました。とてもかわいくて、たのしかったです。



☆二年二組 絵日記

長や い知か

わたしは、夏休みにヨセミテ国立公園とサンノゼとサンフランシスコに行きました。さいしょに、ヨセミテに行って、サイクリングをしました。すごくあつかったけど、いいうんどうになってけしきもさいこうでした。つぎに、サンノゼに行きました。わたしは、サンノゼのホテルがいちばんすきです。りゆうは、おふろがあったからです。ゆぶねにゆっくりつかって、にほんのおふろを思い出して楽しかったです。サンフランシスコでは、アカネミー水ぞくかんに行きました。そこには、見たこともない魚がいました。大きなすいそうに、カラフルな魚たちがいて、すごくきれいでした。このりょうこうは、たのしかったです。みなさんも行ってみてください。



☆四年二組「だれもが関わり合えるように」

井田 陽太

みなさん、このボタンの絵を見て下さい。これは、足が不自由な人のためにあります。図書館で見つけました。ぼくは、このボタンについてインターネットでくわしく調べました。どのような工夫がされているかという、足が不自由な人がボタンをおすと、かんたんにドアが開いて通れるようになっています。もしもこのボタンがなかったら、足の不自由な人は、なかなかドアを開けることができません。ぼくは、このボタンはとても便利だと思いました。次は、点字を調べてみたいと思います。



☆五年二組

楠本 涼

「フランダースの犬」

ぼくは、フランダースの犬の本をしようかしたいと思います。なぜなら、この本は、お母さんにすすめられたし、ぼくも一度読んでみたかったからです。この話は、主人公のネロがパトラッシュという犬とまじしい家でくらし、そのネロとパトラッシュの深い友情がとても分かるお話です。ぼくはこの本を読んで、一番いい場面と思ったところは、ネロとパトラッシュが死んでしまうところです。ネロが死ぬとき、パトラッシュは、いっしょにそばによりそって、なみだをながしながら、いっしょに死んでいきました。その場面がいちばんいいところと思います。そして、悲しいと思いました。二番目にいい場面は、おじいさんが死んでしまうところです。病気で死んでしまいました。ネロたちはとてもショックでした。なぜなら、おじいさんは、かれらのお父さんの存在だったからです。しかし、ネロたちは、くじけずに生きたから、えらいなと思いました。このような、感動的な場面をふくめて、みなさんにこの本をすすめます。ぜひ、みなさんも読んでみてください。



☆五年二組

季節の言葉を入れて俳句を作ろう

春
新学期 聞こえちやうかな ドキドキ
が かしわもち 白くて甘くて いい香
熊澤 匠真 江泉 大地

夏
せみが鳴く すごいうるさい やめてく
サリバン・イアン
音 ひびく 打ち上げ花火 夏の
大森 安沙菜

秋
運動会 勝利をめぐり 皆熱
い りんりん と すず 福地 星太
色 りんりん と すず 延原 衣菜
冬
夜空から 雪という名の おくりも
の 大晦日 年越しそばが おいしい
瀬古 菜名 飛弾 侑宏



